

# 被害想定一覧

規模	現象発生イメージ
<b>水蒸気爆発</b> ・500万m <sup>3</sup> 規模 (13世紀の噴火等)	<p>噴石1.2km</p> <p>融雪泥流(小規模) 御釜由来の火山泥流</p> <p>降灰500万m<sup>3</sup></p> <p>火砕流(火砕サージ)</p> <p>土石流</p>
<b>マグマ噴火</b> ・マグマ水蒸気爆発 ・1,000万m <sup>3</sup> 規模 (過去1万年最大規模)	<p>噴石3.5km</p> <p>融雪泥流(大規模) 御釜由来の火山泥流</p> <p>降灰1,000万m<sup>3</sup></p> <p>火砕流(火砕サージ)</p> <p>土石流</p>

現象	設定方法
噴石	①水蒸気爆発：弾道計算(噴出初速 150m/s) ②マグマ噴火：弾道計算(噴出初速 250m/s)
降灰	③水蒸気爆発：降灰シミュレーション(噴出量：500万m <sup>3</sup> ) ④マグマ噴火：降灰シミュレーション(噴出量：1,000万m <sup>3</sup> )
融雪型火山泥流	⑤水蒸気爆発：二次元氾濫シミュレーション(融雪範囲：火口から500m、温度400°C) ⑥マグマ噴火：二次元氾濫シミュレーション(融雪範囲：火口から1.2km、温度800°C)
降灰後の土石流	⑦二次元氾濫シミュレーション(水蒸気爆発期：9溪流) ⑧二次元氾濫シミュレーション(マグマ噴火期：13溪流)
御釜由来の火山泥流	⑨二次元氾濫シミュレーション(濁川)
火砕流(火砕サージ)	⑩地形解析(エネルギーコーンモデル)